

東日本大震災から 10 年 川西市が携わってきた 被災地の復興支援



南三陸町での取り組み ▶高台移転（防災集団移転）に関する業務▶区画整理に関する業務▶松原公園災害復旧工事など
女川町での取り組み ▶がれきなどの処理業務（半壊住宅などの撤去、証明書の発行）▶道路・水道施設の復旧・維持管理など

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災。1 万 9,899 人が亡くなり、2,559 人が行方不明となっています。市も震災直後から、宮城県の南三陸町・女川町などに延べ 134 人の職員を派遣してきました。

10 年の節目を迎え、今年 3 月で職員派遣は終了しますが、これまでのつながりを今後も継続し、連携を深めていきます。

復興支援に携わって

市職員として震災直後に南三陸町へ派遣された経験があり、現在も福島県浪江町で復興支援に携わっている元市職員の澁野隆さんに話を聞きました。

私が震災直後に支援に向かったのは、津波で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町です。町に入ったときに見た光景は今でも忘れられません。津波で流された船や家などが山中にあり、道路が一本だけ通っている状態。水も電気も通っていない中、避難者の支援を行いました。現在、南三陸町や女川町では災害に備えたまちづくりが進められていると聞きます。

今は、復興庁の任期付職員として福島県浪江町で勤務しています。原発付近の住民は戻れない状態が続いています。復興までの時間はかかりますが、行政職員としての経験を生かし、浪江町の復興に向けて尽力していきます。



復興庁任期付職員
澁野隆さん



小学 1 年生だったあの日、この目で見たものは
まだ私の中で鮮明に生き続けている。
どうかこの町が大好きだったあの日のように
活気と人々の笑顔であふれる町に
なりますように。



①被災直後に捜索を行う市の消防隊②南三陸町震災復興祈念公園内に残る南三陸町旧防災対策庁舎③整備が進む町の中に震災遺構として残る旧女川交番（写真中央下）【写真提供：南三陸町、女川町】

CHECK & QUIZ

次の空欄（○の中）を埋めてください。

1：令和 3 年度 施政○針 2：新型コロナウイルス○クチン接種

クイズ正解者の中から図書カード（1,000 円分）を 5 人に差し上げます（正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します）。応募方法：市ホームページ（右の 2 次元コードからアクセス可）から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、3 月 10 日（水）（消印有効）までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。

※ 2 月号の正解は（1）（和）で、141 件の応募がありました。



1 月末現在の人口



男……………73,824 人（- 64）
女……………82,275 人（- 41）
計……………156,099 人（- 105）
世帯数…70,376 世帯（+9）